シラバス情報照会　照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード	4151220000	開講キャンパス	五橋
授業開講年度	2024年度		
科目コード	5102129919	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読Ａ		
科目英字名称	Reading of Original Texts A		
単位数	1.0		
履修期	前期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	2014308	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	城山　拓也		
テーマ	画家の自伝から、中国の文化・芸術を理解する		
講義内容	現代中国の画家・呉冠中の自伝『我負丹青』（人民文学出版社、2004年、初出）の原文を精読します。著者は20世紀中国を代表する画家の一人で、中国画、西洋画の分野で顕著な功績を残しました。本授業では、この自伝の文章を吟味するとともに、中国の文化・芸術について理解を深めます。また、正しい文法知識に基づいて原文を読み、翻訳することで、中国語能力の向上も目指します。		
達成目標	①中国の歴史・文化・芸術について、基礎的な知識を習得する。 ②中国文化に関する数点のテーマについて、自分の考えを述べることができるようになる。 ③日本と中国の文化的差異について自覚できるようになる。 ④中国語を正確に発音し、難易度の高い文章を読むことができるようになる。		
授業計画 第１回	【事前学修】シラバスをきちんと読んできてください。 【授業内容】ガイダンス 【事後学修】教員の配付したレジュメを熟読し、授業の達成目標や進め方を理解して下さい。		
授業計画 第２回	【事前学修】第2回の範囲のテキストを熟読してきてください。 【授業内容】「一　生命之流――故園・煉獄・独木橋」① 【事後学修】第2回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。		
授業計画 第３回	【事前学修】第3回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――故園・煉獄・独木橋」② 【事後学修】第3回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。		
授業計画 第４回	【事前学修】第4回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――故園・煉獄・独木橋」③		

	【事後学修】第4回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第５回	【事前学修】第5回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――故園・煉獄・独木橋」④ 【事後学修】第5回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第６回	【事前学修】第6回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――厳寒・酷暑・土地」① 【事後学修】第6回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第７回	【事前学修】第7回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――厳寒・酷暑・土地」② 【事後学修】第7回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第８回	【事前学修】第8回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――厳寒・酷暑・土地」③ 【事後学修】第8回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第９回	【事前学修】第9回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――厳寒・酷暑・土地」④ 【事後学修】第9回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第１０回	【事前学修】第10回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――芸海沈浮、深海浅海幾巡回」① 【事後学修】第10回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第１１回	【事前学修】第11回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――芸海沈浮、深海浅海幾巡回」② 【事後学修】第11回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第１２回	【事前学修】第12回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――芸海沈浮、深海浅海幾巡回」③ 【事後学修】第12回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第１３回	【事前学修】第13回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――芸海沈浮、深海浅海幾巡回」④ 【事後学修】第13回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第１４回	【事前学修】第14回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――年齢飛昇、看宇寰塊塁」①

	【事後学修】第14回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第１５回	【事前学修】第15回の範囲の担当者はレジュメを作成してきて下さい。その他の履修者はテキストを熟読し、質問を考えてきてください。 【授業内容】「一　生命之流――看宇寰塊塁」② 【事後学修】第15回で誤訳していた箇所を調べなおし、なおかつ自分の考えをまとめてください。
授業計画 第１６回	
授業計画 第１７回	
授業計画 第１８回	
授業計画 第１９回	
授業計画 第２０回	
授業計画 第２１回	
授業計画 第２２回	
授業計画 第２３回	
授業計画 第２４回	
授業計画 第２５回	
授業計画 第２６回	
授業計画 第２７回	
授業計画 第２８回	
授業計画 第２９回	
授業計画 第３０回	
成績評価方法	授業参加度（予習・復習、積極的な発言：50%）、および発表（レジュメ、部分訳、プレゼンテーションの完成度など：50%） 具体的な評価基準は、授業時に公開する
学修に必要な準備	1）事前に受講者全員がテキストを読んで、内容について理解しておく。毎回の授業で必ず何らかの質問をしてもらうつもりである。 2）発表担当者はレジュメ、および部分訳を作成する。受講者からの質問に答えられるように、責任をもって準備してもらいたい。 3）理解できない箇所があれば、積極的に教員に質問をしたり、資料を調べたりすること。

関連して受講することが望ましい科目	「言語文化学演習（中国系）」、「中国語コミュニケーションIII」、「現代アジア論」、「現代アジア事情」など。		
テキスト	教員が用意します。		
参考文献	随時紹介します。		
履修上の注意	「中級中国語（読解・総合）」及び「中国語コミュニケーションII」を履修済み、或いはそれに相当する中国語力をもつ学生の履修を希望します。 オフィス・アワーについては開講時に指示します。		
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。 【アクティブ・ラーニング科目】【BYOD実施科目】		
添付ファイル1		説明1	
添付ファイル2		説明2	
添付ファイル3		説明3	
添付ファイル4		説明4	
添付ファイル5		説明5	
関連URL1			
関連URL2			
関連URL3			

教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2024年度	前期授業	木曜２校時	前期授業	五）講）L725

カリキュラム情報

項番	学生区分　所属区分	学部　学科　専攻・コース	適用入学年度
1	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2015年度～2016年度
2	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2015年度～2018年度
3	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2017年度～2018年度
4	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2019年度～2019年度
5	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2019年度～2100年度
6	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2020年度～2100年度
7	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2015年度～2016年度
8	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2015年度～2018年度
9	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2017年度～2018年度

10	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2019年度～2019年度
11	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2019年度～2100年度
12	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2020年度～2100年度
13	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2015年度～2016年度
14	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2015年度～2018年度
15	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2017年度～2018年度
16	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2019年度～2019年度
17	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2019年度～2100年度
18	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2020年度～2100年度
19	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2015年度～2016年度
20	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2015年度～2018年度
21	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2017年度～2018年度
22	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2019年度～2019年度
23	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2019年度～2100年度
24	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2020年度～2100年度
25	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2015年度～2016年度
26	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2015年度～2018年度
27	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2017年度～2018年度
28	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2019年度～2019年度
29	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2019年度～2100年度
30	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2020年度～2100年度

戻る(X)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.